

2-②-E アドバンスドコース シラバス（⑤観光DXの活用）

- 令和7年8月公開の観光庁DX公式教材に準拠したシラバス案です。（目次構成や内容は予告なく変更される場合があります。）

項目	内容
番号	R-NET2005
科目名	DMO中核人材研修 第4回「財務戦略とCFO実務」
対象	中核人材（CMO、CFO、部門責任者等）
講師（監修）	（一社）地方創生パートナーズネットワーク 代表理事 村松知木
研修の概要と方法	観光庁が提供する「観光DX推進に関する公式教材」（A～Eの5テーマ）を視聴を必須とし、その内容を基礎にDMOでのDX実務適用を学ぶ。教材タイトルに沿った章構成で進め、各動画のポイント整理と自地域への応用方法を補足講義で解説。
研修生の到達目標	①観光庁が提示するDXの定義と推進目的を理解できる。②公式教材の事例や手法を自地域の観光地経営に応用できる。 ③DX導入計画の基本構成（目的、対象領域、データ、ツール、KPI）を作成できる。
授業外学習	事前：観光庁DX公式教材（A～Eの全編）を視聴し、重要だと思う事例や手法を3つメモする。 事後：講義内容を踏まえ、提示したフォーマットに沿って、自地域のDX導入計画案（概要版）を作成する。
成績評価方法	観光庁DX教材の視聴完了確認：20% 補足講義後の理解度テスト：20% 自地域DX導入計画案（概要版）の作成提出：60%

章	時間	タイトル	授業スケジュール（章構成・詳細）
第1章	15分	A. データの収集・活用	観光統計、位置情報、口コミ/SNSデータなど、多様なデータソースの特性と収集方法を解説。公式教材で紹介されるデータ分析のステップ（収集→整理→可視化→活用）を整理し、DMOでの実務例を提示。
第2章	15分	B. 戦略策定	公式教材のフレームを基に、現状把握から課題設定、施策立案に至るプロセスを解説。KPI設定、ターゲット市場選定、施策優先順位付けの方法を紹介。
第3章	15分	C. シームレスな地域サイトの活用	公式教材に沿い、地域公式サイトの多言語化、UX改善、リアルタイム情報発信、予約・販売機能統合による顧客体験向上の手法を解説。
第4章	15分	D. CRMの活用	顧客管理システム（CRM）の役割と公式教材での事例を踏まえ、顧客データ統合、パーソナライズ施策、再来訪促進の方法を学ぶ。
第5章	15分	E. DMPの活用	データマネジメントプラットフォーム（DMP）の仕組みと公式教材での活用事例を解説。異なるデータソースの統合分析による広告最適化、需要予測の実践例を紹介。
第6章	15分	自地域DX導入計画の策定	A～Eの知見を統合し、自地域に適用するDX導入計画（目的、対象領域、データ活用方針、ツール選定、KPI設定）を作成する手順を演習形式で学ぶ。